

◎卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 知識・理解

- 1) 保育学・教育学・福祉学・心理学・基礎医学・民俗学などを包括する学際的な学問分野である「こども学」に関する専門的知識及び技能を持っている。
- 2) 時代の変化を敏感に察知し、こどもに関する問題意識を持ち続けることができる。

2. 汎用的技能

- 1) 専門性深めながら、その成果を伝えるための自己表現力やコミュニケーション能力を身につけている。
- 2) 時代の変化に適切に対応し、多角的な視点から問題を解決するための情報収集及び分析能力を有している。

3. 態度・志向性

- 1) 高い倫理観にもとづき多様な価値観を認め、人に誠実に接することができる。
- 2) 他者と協働しながらチームとして問題を解決することができる。

4. 総合的な学習経験と創造的思考力

- 1) 多様な科目履修及び実習や地域と連携した活動を通して磨かれた実践力を社会で活かすことができる。
- 2) 自分の世界観を構築し、多様な価値を認め、柔軟な姿勢で他者を援助できる。

◎教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

保育学・教育学・福祉学・心理学・基礎医学・民俗学などを包括する学際的な学問分野としての「こども学」を学修できるよう、総合的なカリキュラムを編成する。

- 1) 少人数教育を基本として、学年を追うごとに基礎的な内容から、発展的内容へと進む段階的なカリキュラムを編成する。
- 2) 「こども学への導入」を目的とした専門教育科目によって、初年次から基礎的な内容の理解と同時に、早い段階から体験型学習を積み、実践力を高めることができるようなカリキュラムを編成する。
- 3) 「こどもと社会の領域」「こどものこころの領域」「こどもと健康の領域」「こどもと教育の領域」といった幅広い領域の専門教育科目を履修することができるようにカリキュラムを編成し、興味・関心を広げ生涯学び続ける態度を培う。
- 4) 「実践力を高める領域」及び「こども学の実践」に関する科目を充実させ、地域と連携した体験的・実践的学習を積極的に取り入れる。知識・技能の向上はもとより対人スキル、社会性、判断力、問題解決力などの養成も図る。

このようにこども学の学際的な知識と実践力、さらに知の生産としての研究技術を包括的に学ぶことができるカリキュラムを編成する。

◎入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1) 様々な専門的知識を学ぶ意欲があり、コミュニケーションを図るために十分な基礎学力を有する人
- 2) 人間と社会に興味・関心を持ち、学ぶ意欲のある人
- 3) コミュニケーションに必要な自分を表現する力や相手を理解しようとする力を備えている人
- 4) 自分の問題と社会の問題を関連づけて考えることができる人
- 5) 向上心を持ち、積極的に探究する意欲がある人
- 6) 奉仕の精神で労力を惜しまない人
- 7) 社会活動に興味があり、積極的に人と関わろうとする人
- 8) 物事に対していろいろな見方があることを理解し、異なる考えも受け入れようとする人